

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 血液凝固異常症全国調査

〔研究機関名〕 聖隷三方原病院

〔研究機関の長〕 山本貴道

〔研究責任者〕 平野功（血液内科・医師）

〔研究の概要〕

■ 目的・方法（研究期間も含む）

研究期間：2017年9月14日～2025年3月31日

目的：血友病、フォン・ビルブランド病など、血液の凝固に関する疾患について、厚生労働省の委託事業により「血液凝固異常症全国調査」が実施されています。

この調査は、日本における血液凝固異常症の全例を対象とし、患者さんの病態を把握し、治療の向上と生活の質の向上に寄与することを目的としています。

研究方法：本調査は社会的に重要性が高い調査であるため、当院ではこの調査に協力し、血友病、フォン・ビルブランド病など血液の凝固に関する疾患で受診された患者さんの診療情報（カルテに記載してある情報）の一部をこの調査に報告しています。この情報提供においては、患者さんのお名前は報告しておりませんので、調査関係者が患者さんのお名前を知ることはありません。ただし、他の患者さんのデータと混同することがないように、データには生年月日およびお住まいの都道府県を含めています。

■ 対象となる患者さん

血液凝固異常症で受診された患者さん

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：病名、性別、治療情報、合併症の情報、生年月日およびお住まいの都道府県

以上の情報は貴重なデータとして聖マリアンナ医科大学で集計され、その結果は「血液凝固異常症全国調査報告書」として毎年公表されます。

■ 外部への試料・情報の提供

データは聖マリアンナ医科大学に郵送あるいは宅配便で送付され、解析されます。調査結果は学会発表や研究論文として公表されることがあります。なお、この場合も、患者さんのお名前が研究関係者に伝わることは全くありません。提供している診療情報の詳細をお知りになりたい場合は、担当医にお問い合わせください。

■ 研究組織

[試験責任者]

聖マリアンナ医科大学 小児科 長江千愛

[血液凝固異常症全国調査事務局]

〒216-8511 川崎市宮前区菅生2-16-1 聖マリアンナ医科大学

血液凝固異常症全国調査（調査責任者：瀧 正志）

[試験実施施設]

聖マリアンナ医科大学

聖マリアンナ医科大学附属病院

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

及び全国の医療施設 約1,500施設

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

平野功、血液内科

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971